

2つの世界大戦に挟まれた約20年間に及ぶ社会と文化の変動は、ダダイズム、シュルレアリスム、イタリア未来派やドイツ表現主義、新即物主義、ロシア構成主義などの様々なアヴァンギャルド芸術の誕生を促しました。更なる産業化と工業技術の躍進に伴い近代化への変貌を遂げてゆく世界的時代背景のなかで、それらは写真メディアと少なからず接触を保ち、新たな表現の可能性を希求して行きました。破壊と構築、近代化への指向性と否定、新しいイズムへの創造性と限界を内包したこれらの芸術の潮流を辿るとき、この多岐に渡る芸術家たちの活動の軌跡を一括りに回顧することは極めて困難でありましょう。しかしこの時代には、才能溢れた多くの写真家たちによって揺るぎない輝きを放つ作品群が創出され、写真史において確実にひとつの転換期を迎えることとなりました。本展では、1920年代から30年代を中心とする写真世界に焦点を絞り、モダニズムの時代の一面を以下の3部構成によって展覧しようとするものです。

東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography



平井輝七 〈モード〉 1938 ゼラチン・シルバー・プリントに着色

第3部
シュルレアリスムと写真
Surrealism and Photography

1995/11/14(Tue.)-1/24(Wed.)

第1部
形態の美学
Modern Aesthetic Forms

【PART 1】
植物庭園
Botanical Garden

1995/4/1(Sat.)-
6/18(Sun.)



梅阪養里 〈けし〉 c.1930-1939 ゴム

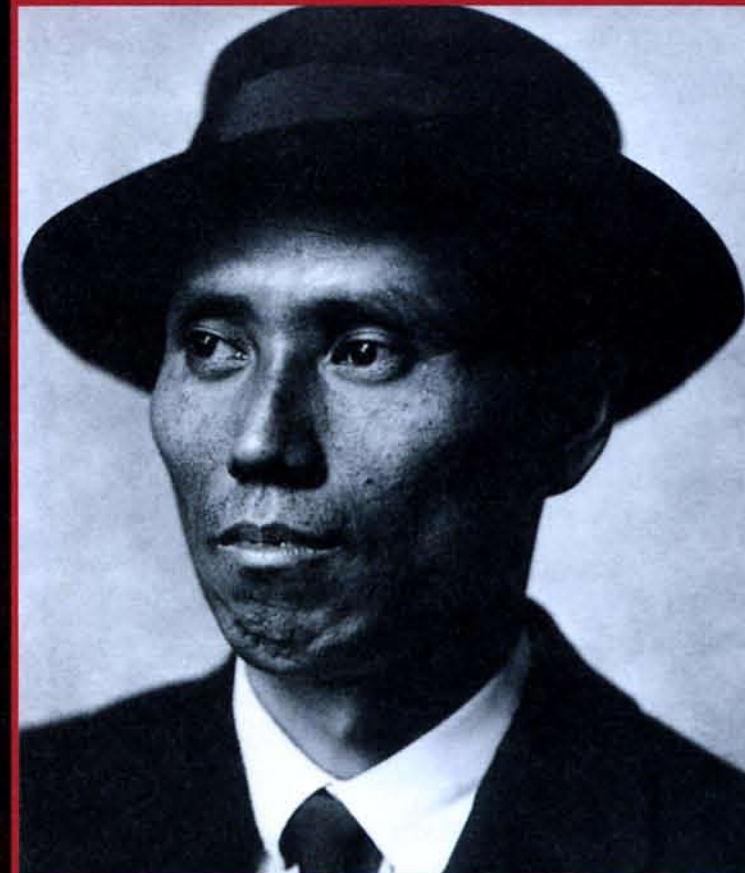


植木昇 〈大いなるオブゼ〉 1950 ゼラチン・シルバー・プリント

【PART 2】
光と闇のかたち
Still Life Arrangements on a Table
1995/6/20(Tue.)-9/3(Sun.)

第2部
モダニズムの肖像
Portraits in Modernism

1995/9/5(Tue.)-11/12(Sun.)



吉川富三 〈宇萬久俊彦〉 1931 プロムオイル

1995.4.1-1996.1.24

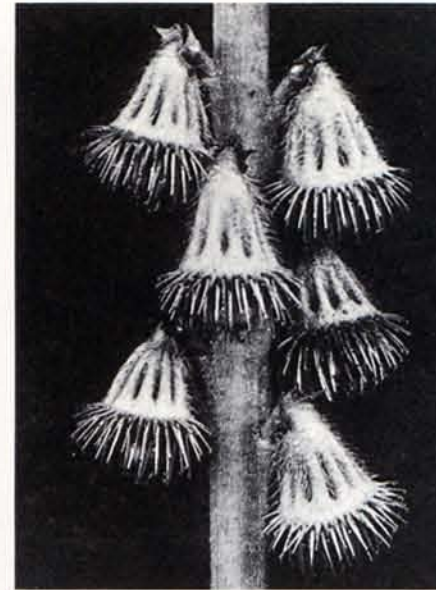
モダニズムの時代

モダニズムの時代 第1部 ● THE AGE OF MODERNISM: Chapter I

形態の美学 ● Modern Aesthetic Forms

【Part 1】
植物庭園
Botanical Garden

島村紫陽 島村逢紅 福原路草
福田勝治 安井伸治
アルフレッド・ステューグリッ
エドワード・ウェストン
ウジェーヌ・アジェ
アルベルト・レンガーニ・パッチュ
エルネスト・フルマン 他

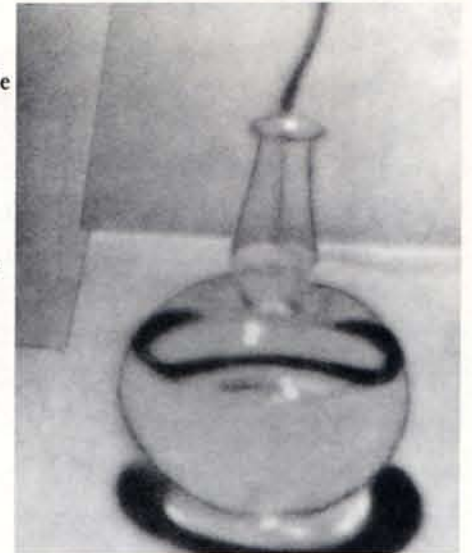


エルネスト・フルマン 〈アグリモニア・エン・イタリア〉 n.d. ゼラチン・シルバー・プリント

【Part 2】

光と闇のかたち
Still Life Arrangements on a Table

高山正隆 堺時雄 植木昇
西山清 中山岩太
ヴァルター・ペーター・ハンス
ポール・アウターブリッジ
エンネ・ビールマン
アンドレ・ケルテス ヨセフ・ステック
コンスタンティン・ブランクーシ 他



福田勝治 〈静物〉 1925 ゼラチン・シルバー・プリント

映像を生み出す全ての原点となる「物質のかたち」は、写真というイメージの核に位置付けられます。ピクトリアリズムから今世紀初頭にアメリカで打ち立てられたストレート・フォトグラフィの時代を経て、1920～30年代にはドイツ新興写真など、その流れをくむ独特の表現形態が出現しています。スティール・ライフ(静物)に表された作家固有の内的視線はあますところなく時代の精神を反映し、モダニズム到来時の写真史において確かな彩りを添えています。前期では物質の中でも特に神秘的な形態を備えた植物写真の世界に肉薄し、後期では「卓上のオブジェ」を中心とする静物を照射しながら、写真と物質との出会いによって生み出されていった形態の美を見つめ直そうとするものです。

モダニズムの時代 第2部 ● THE AGE OF MODERNISM: Chapter II

モダニズムの肖像 ● Portraits in Modernism

小林祐史 吉川富三 小関庄太郎 玉井瑞夫 ジャック・アンリ・ラルティエ
ポール・シトロエン ウンボ エドワード・スタイケン アウグスト・ザンダー 他



小林祐史 〈自写2人像〉 n.d. ゼラチン・シルバー・プリント

第2部では、モダニズムにおける人物表現にスポットをあて、海外の影響を受けながらも独自の活動を展開させた日本のモダニズムを中心に考察します。両大戦間の日本写真界における新しい感性は、ピクトリアリズムの残香を漂わせながらも、オリジナリティーにあふれた斬新な作品群を生み出しました。モガ・モボに象徴される新風俗を生み出した、自由で洒脱な気風に満ちた時代背景の中で描き出されたこれらの作品を振り返ることによって、表現されたモダニズムにおける人物像の特質を浮かび上がらせてみます。

モダニズムの時代 第3部 ● THE AGE OF MODERNISM: Chapter III

シュルレアリスムと写真 ● Surrealism and Photography

後藤敬一郎 北岡克衛 小林鳴村 平井輝七 ウジェーヌ・アジェ
マン・レイ ハンス・ベルメール ビル・ブランド モーリス・タバール 他



後藤敬一郎 〈自由の時効〉 1939-41 ゼラチン・シルバー・プリント

ヨーロッパの1920～30年代を疾走したシュルレアリスムの潮流は、芸術の様々な分野で創造の輪を広げながら、同時代の写真史にもまた一つの流れをもたらしました。本章では、海外と日本のそれぞれの動向を辿るとともに、シュルレアリストたちにインスピレーションを与え、絵画の技法にも影響をもたらした写真のシュルレアリスムを総観いたします。

講演会のお知らせ

会期中、当館ホールにて講演会を開催します。日時・内容等の詳細に関しては美術館にお問い合わせください。

■参加費：無料

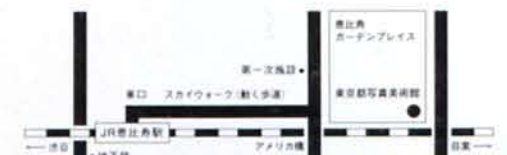
フロアレクチャーのお知らせ

会期中、当館学芸員による展示解説を行います。

■毎月第3金曜日 18:30～

開館時間＝午前10時～午後6時(木・金曜日は午後8時)まで
入館は閉館の30分前まで 休館日＝毎週月曜日
観覧料＝一般・大学生500(400)円 小・中・高校生250(200)円
()内は、20名以上の団体料金(映像展示室の観覧料を含む)
会場＝3階常設展示室 主催＝東京都写真美術館

東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography
〒153 東京都目黒区三田1-13-3 TEL.03-3280-0031
1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153



交通機関＝JR恵比寿駅東口より徒歩7分(恵比寿ガーデンプレイス内)。お車でのご来館はご遠慮ください。